

(様式4) 継続事業中間評価調査 (令和2年度実施事業)

評価確定日(令和3年8月4日)

事業コード		政策コード		政策名	交通死亡事故の抑止					
事業名	交通指導取締活動事業	施策コード		施策名	交通事故抑止に資する交通指導取締りの推進					
		目標コード		施策目標	交通事故死傷者数の減少					
部名	交通部	課名	交通指導課	係名	交通係	(tel)5122	担当課長名	鈴木幸司	担当者名	澤田石辰美

評価対象事業の内容

事業年度 年度～ 年度

1-1. 事業実施の背景(施策目的達成のための必要性) 県民の安全・安心を確保するため、交通事故に直結する飲酒運転等悪質性、危険性及び迷惑性の高い違反の取締りを適正かつ効果的に実施する必要がある。このため、飲酒検知器、定置式レーダ速度違反取締装置、放置駐車違反管理装置等を整備するとともに、これら取締り資機材・システムの定期的な更新を要する。 減少傾向にはあるものの、飲酒運転を伴う交通事故は依然と発生しており、この撲滅のため、飲酒検知器の適性維持が不可欠である。	3. 事業目的(どういう状態にしたいのか) 交通事故抑止に資する効果的な交通指導取締りを計画的、継続的に推進し、交通事故の総量抑制及び交通死亡事故抑止を目的とする。
1-2. 外部環境の変化及び事業推進上の問題点 暴走運転、飲酒運転等、悪質性、危険性及び迷惑性の高い違反の取締りについては県民からの強い取締り要望があり、体制の強化及び取締り用資機材の整備により県民の要望に応える必要がある。 しかし、各種取締り用資機材の老朽化が著しく、破損や故障が多発している現状であり、交通情勢の変化や県民要望に応えるのが困難な状況である。	4. 重点施策推進方針との関係 <input checked="" type="checkbox"/> 重点推進事項 <input type="checkbox"/> その他の事業
2. 住民ニーズの状況(事業継続中に把握したもの) ①ニーズを把握した対象 <input type="checkbox"/> 受益者 <input type="checkbox"/> 一般県民 (時期: 年 月) <input type="checkbox"/> アンケート調査 <input type="checkbox"/> 各種委員会及び審議会 <input type="checkbox"/> ヒアリング <input type="checkbox"/> インターネット <input checked="" type="checkbox"/> その他の手法 (具体的に 警察署から報告される交通取締管理簿、警察への要望) ③ニーズの具体的内容 飲酒運転や暴走車両等、悪質性、危険性及び迷惑性の高い違反に対する強い指導取締り要望がある。	5. 目的達成のための方法 ①事業の実施主体 警察本部 ②事業の対象者・団体 県民 ③達成のための手段 悪質性、危険性及び迷惑性の高い違反の取締りを効果的に行うため、取締り資機材を適正に配分し活用する。
	6. 前回評価結果等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施又は継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 再検討又は縮小・休廃止 なし ①指摘事項 ②指摘事項への対応

7. 事業の全体計画及び財源		左の説明							28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	全体(最終)計画
事業内訳コード	事業項目														
	交通指導取締り活動に対する経費	セーフティコート、矢印誘導板、ミニクルライト、セーフティコーン、停止灯、発煙筒等							3,685	3,671	3,989	2,665	2,265		
	同上	物品購入(可搬式自動速度取締装置、定置式速度取締装置、飲酒検知器)							18,155	25,208	1,718	1,718	1,749		
	同上	放置駐車違反管理システム等(放置駐車違反標章等の印刷製本、放置駐車確認事務委託等)							19,033	20,305	19,057	19,442	18,212		
	同上	最高速度違反管理業務システム改修に要する経費							1,194						
予算額(千円)									42,067	49,184	24,764	23,825	22,226		
財源内訳	国庫補助金								8,734	10,083	686	686	699		
	県の債														
	その他								9,601	12,950	13,860	6,289	11,132		
一般財源									23,732	26,151	10,218	16,850	10,395		

8. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

指標名 県内の交通事故死傷者数

指標の種類 成果指標 業績指標

指標式

①年度別の目標値(見込まれる効)

指標	H29	H30	R1	R2	R3	最終年度
目標a	2000	2000	2000	2000	2000	
実績b	2498	2186	1870	1691		
a/b	80.1%	91.5%	107.0%	118.3%		
東北						
全国						

②データ等の出典 交通事故統計
目標値、実績値は暦年(1~12月)の数値

③把握する時期 当該年度中 月 翌年度 月 翌々年度 月

指標名

指標の種類 成果指標 業績指標

指標式

①年度別の目標値(見込まれる効果)

指標	最終年度
目標a	
実績b	
b/a	
東北	
全国	

②データ等の出典

③把握する時期 当該年度中 月 翌年度 月 翌々年度 月

指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することが出来ない理由

②具体的な把握方法

③把握した効果

④データ等の出典

⑤把握する時期 当該年度中 月 翌年度 月 翌々年度 月

所管所属長による評価		評価結果
現状の課題に照らした妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> b <input type="checkbox"/> c 飲酒運転や速度超過違反を取り締まるためには、信頼のできる専用の取締り機材が必要不可欠である。		<input checked="" type="checkbox"/> A
住民ニーズに照らした妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> b <input type="checkbox"/> c 悪質危険かつ迷惑性の高い飲酒運転や著しい速度超過違反に対する住民の取締り要望は高く、住民のニーズに応えるためにも必要である。		<input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C
法令・条例上の要請等		
【理由】		
事業目的の達成状況 評価の対象 <input checked="" type="checkbox"/> 対象 <input type="checkbox"/> 対象外 <input checked="" type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> b <input type="checkbox"/> c 【理由】 交通指導取締り資機材等を充実させることで、飲酒運転や暴走車両等の悪質性、危険性及び迷惑性の高い違反を効果的に取り締まることが可能であるとともに高齢者被害の事故防止を図り、交通事故を抑制する有効性が認められる。		<input checked="" type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C
事業の経済性の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> b <input type="checkbox"/> c 【理由】 適正かつ効果的な取締りを行うことで、ドライバーの規範意識の向上が図られるなど、県民の安全安心につながる。また、限られた人員で最大限の効果が期待でき、費用対効果の面からも妥当性が認められる。		<input checked="" type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C
事業の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> A(妥当性が高い) <input type="checkbox"/> B(概ね妥当である) <input type="checkbox"/> C(妥当性が低い)	
対応方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持で継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 休廃止	
悪質性、危険性及び迷惑性の高い違反の取締りを強化することで、重大交通事故を抑止するとともに、安全・安心な交通環境が醸成され、県民のニーズとも合致し、その妥当性は高いと判断できることから現状維持で事業を継続するものである。		
評価結果の当該事業への反映状況(対応方針)		
政策評価委員会意見(諮問する事業についてのみ記載)		

指標Ⅰ

指標Ⅱ

必要性の観点

有効性の観点

効率性の観点

総合評価